

おうちで百人一首

ひやくにんいっしゅ

ひやくにんちご

／百日後にマスターするわたし

五日目／

今日の一首

坂上　是則



上の句

朝ぼらけ

ありあけ

有明の月と

み

見るまでに

下の句

吉野の里に

よしのさと

降れる白雪

しらゆき

まめちしき！

かいこえだ
声に出して
よ読んでみよう！

歌の意味

寒い冬の朝、早く目が覚めたら家の外が明るいので、「月が出ているのかな」と思つて見に行くと、私の住んでいるこの吉野の里に、まぶしく雪が降りしきつているのでした。

すっかり明るさが広がつて
いる様子が「朝ぼらけ」。
夜と区別がつかない様子が
「暁」、ほんの少し明るい

様子を「曙」と表します。

六日目の歌は・・・

寂しさに宿を立ち出でてながむれば

いづこも同じ秋の夕暮れ

おな

あきゆうぐ